

Centimetres

KODAK Color Control Patches

© The Tiffen Company, 2000

Kodak

LICENSED PRODUCT

3/Color Black

Blue

Cyan

Green

Yellow

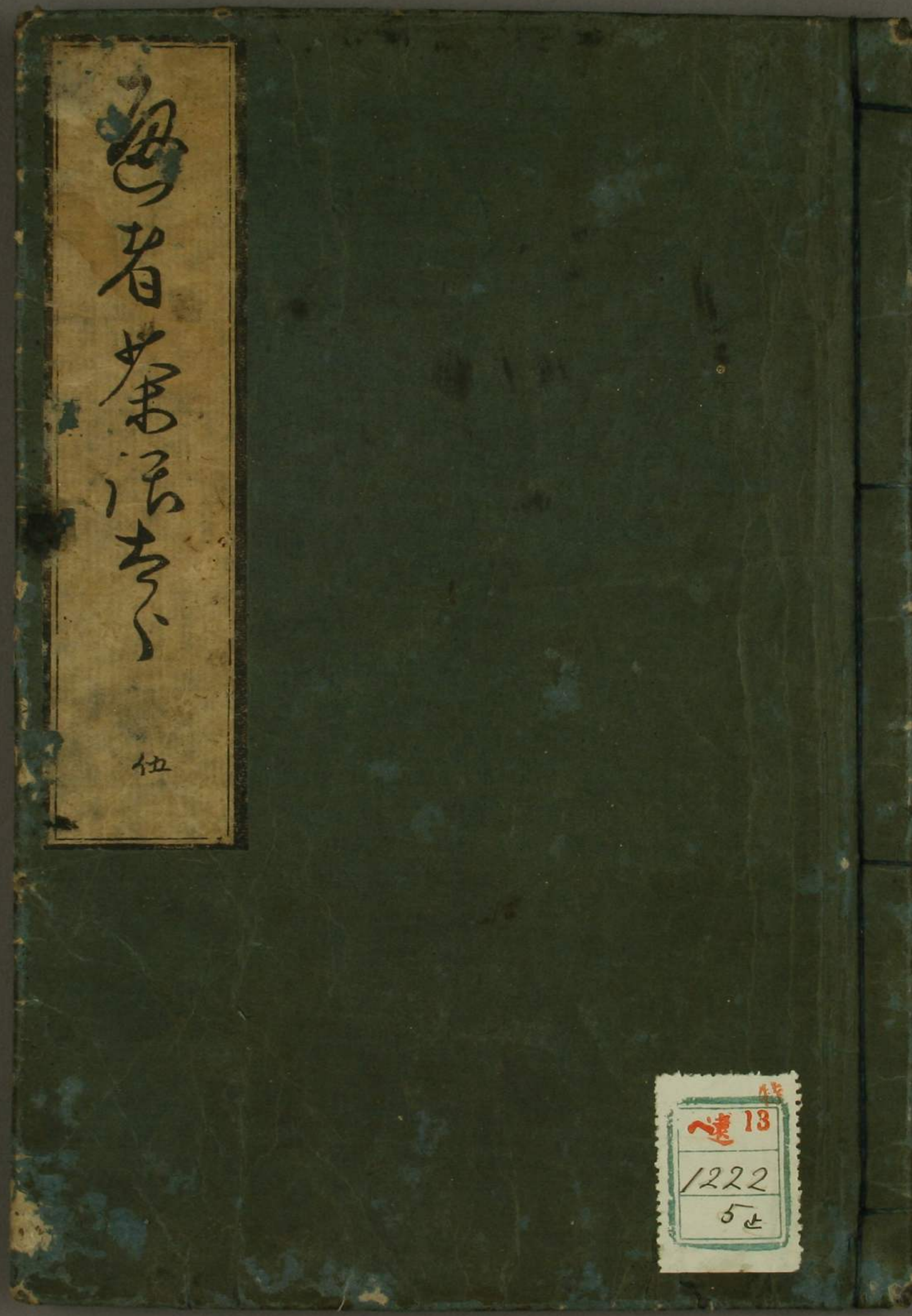
Red

Magenta

White

3/Color

Black



海者茶活志
伍

18
1222
5

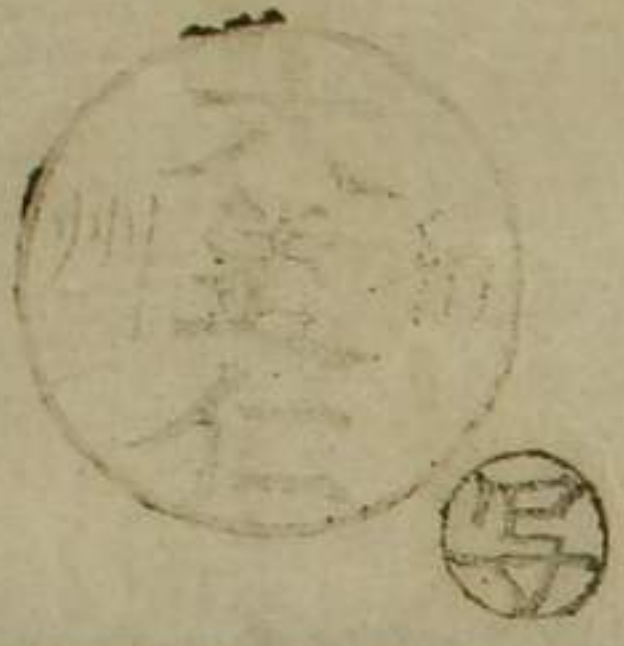


13
1222
5

通老集話太舟卷之五

弓を求て東於を停る後

粟一石を喰ふ強足も人たるれど。奴隷の
くわのふふ辱られ大津その追が〜こたう〜
糠もだも飽〜。適集話太舟買用結成
江戸表へ〜。暫滞留〜用要集事お〜の
以取りハ〜。降玉出〜。知〜。方〜。浦
乞よび〜。本所迄白星の集務〜。い〜。お〜
し〜。鴨〜。女集務〜。積〜。車力〜。押〜。



通老集話 卷之五

合上。俵物はけしきりさしりたけり。忽
靴を履し。さらば。大上
喧嘩。口論。及。車力。ども。初ハ。勢。ひ。強。く。物。を
の。入。海。く。ろ。な。ご。あ。ら。う。と。無。口。く。ら。う。が。さ
士。を。獨。る。ご。と。も。無。者。理。屈。も。同。理。も。ゆ。い。き
ど。割。し。ら。の。ま。く。と。ぬ。折。し。ら。と。金。銭。を。食。る。俵
け。店。う。も。る。代。も。き。ま。も。く。と。接。扱。と。れ
ど。井。く。二。来。や。ま。あ。で。ハ。海。を。ぬ。れ。た。ら。の
價。ハ。又。と。わ。う。と。同。の。新。が。え。の。通。り。を。通。り。を。通。り。

ど。昔。ら。た。も。せ。ぬ。の。く。行。物。も。も。け。店。く。買。ひ
と。と。春。山。の。も。あ。る。も。ご。愛。さ。う。ら。を。一。般。し
く。二。女。も。も。小。株。焚。と。夫。が。い。わ。な。う。さ。の。價。を
僕。と。無。方。音。の。剛。能。の。大。勢。の。と。が。の。て
あ。ま。し。も。代。も。車。力。も。お。も。ふ。な。く。ぬ。バ。そ。う。く
る。を。遂。に。振。る。を。度。ふ。居。合。を。基。依。本。而。懐。中。よ
と。金。子。又。支。店。お。し。こ。し。く。ら。士。を。振。り。お。の。揚
と。し。こ。ア。が。ま。れ。い。つ。通。り。も。あ。ら。う。と。や。ら。う。と
い。ひ。こ。ま。の。金。を。も。も。振。り。や。片。録。を。ね。ら。う。と。う。門



ととく陽うらる。あくまきば六月廿四日さく
 んよおのひらるハ。系後をうらる。例の系後
 一せ一代とあうらるハ。定らるるをえ。諸捕あう。一
 諸うらる。死走らあうんと。諸うらる。諸うらる。諸うらる
 是あう。但るをう。打掃うらる。葉肉あう。とまう
 うらる。伴の男あう。らる。はらる。一僕連て
 葉肉の男よ。後たうらる。川辺ふ。さき。波を掃の
 との。さう。さう。麻葉たう。あう。紙の化物
 うらる。掃う。船人ひらる。とらる。とらる。で。禪法うらる

うらる。掃う。天作の系後。日でも。まご。おの。事。お。お
 ふ。是。ぞ。と。お。あ。う。船。も。なく。何。さ。は。是。ハ。後。の。男
 を。の。で。う。船。う。又。ハ。掃。自。方。の。船。な。う。う。何。み。も
 せ。よ。是。で。ら。あ。う。ら。ら。と。ま。げ。お。う。う。見。廻。を
 う。ら。船。の。向。う。う。系。後。太。師。先。生。後。付。と。遠。う。う
 サ。ア。く。是。ハ。と。遠。う。ら。ら。バ。又。人。の。客。人。び。ら。ら。ら
 是。ハ。名。ふ。ま。う。伽。や。ら。船。を。但。ハ。ま。船。の。ま。う
 う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。船。と。忙。な。う。う。も。葉
 掃。き。ハ。亭。と。と。遠。う。う。人。後。二。の。か。う。う。の。ち。場

より二刻方も窮乏なる。船の向ハ家来直と
兼後太師が足寄は法基。又人の男をやり込バ
孫のとよは尻垂く。船人ハいりきぬる。是は
並場もたつ。いふ。いふ。提重丸出。い。お今日
水不垂た。打揃。い。水東條。子万満。い。い
ま。と。毒。海。ハ。時。回。素。の。通。年。修。く。肉。從。枯。く。止。
い。い。花。去。一。た。う。う。う。を。強。く。水。出。舎。り。も。積。白。
い。う。ぐ。雅。遊。を。汚。も。り。う。か。ご。う。い。う。く。一。載。
酌。の。く。と。蘇。飲。貯。く。お。春。の。い。提。ひ。う。け。バ。蘇。と

焼。た。う。ふ。よ。白。板。交。く。三。種。の。煮。し。め。今。二。三。ハ
多。辨。と。歸。の。さ。う。と。因。取。も。家。来。も。新。見。合。せ。是
ハ。大。又。水。孔。走。と。口。ぐ。ハ。い。と。皆。石。真。吸。も。の
一。口。出。と。ハ。く。と。今。又。悔。ろ。と。い。う。れ。も。な。う。と
評。を。ら。う。う。柳。く。い。き。バ。兼。後。太。師。當。く。六
備。く。テ。押。る。の。目。ま。と。の。と。是。も。う。ま。う。く。付。う
つき。バ。遊。く。遊。素。の。足。や。う。船。面。で。う。し。と。時
く。き。と。兼。後。太。師。が。提。重。丸。ハ。け。と。も。た。ま。を。古。家
取。よ。大。坂。名。代。の。徳。者。と。ら。す。い。ま。と。と。う。よ。ハ

通書 卷五 七



苦いものあり
柳の

通
者
美
上



令持
目を
振り
の
振
ま

通
者
美
上

むろふふたも修なる橋船二艘橋の宮の中
 流し揚りき素波を揚敷十の英女花のどく
 船中ふりりき遊び奏鼓系舟小舞うらよこ
 生菌のかんぢりたわう葡萄の秀ころあうと漢
 の武帝の練しぬひも勢うこころあやまらん
 と浦ふりこころ延わう現ぬうこころなぐむ
 る肉をばけりよつきこころんばもや鬚間
 こもハ舞うつり。旦那こころんこころん
 自さときバ。船ハ見おの川市丸小天針丸船

橋のむらめら橋の鼻知隠然妓もこころ入
 水と南と花街の英面あこころの勢揚へ修揚
 ろこころのそ中ふも。都路ハ本附子を音親さ
 子所ハ個を宅平橋南の藤橋厂の沈新化の
 菊世ハあついで冬統中こまこ子の邪广科淫
 吉合子ながりも女児を情通くこころこころ
 つら。初と今ハ冬比の遠ひ窮達ならまら付
 の男。又人のあふる花悦四知りまこころ思
 ひのおこころ志うを誘引ハ。おも智あふ

夏あつて保ちまゝに
 も又浮世まゝに雨あまよひ
 乾坤めいもよひにまはしく
 あつてあつてまはしく
 ぬくも女戯おやうは
 こゝろゆがはめり
 始と筋違
 ぬくも女戯おやうは
 こゝろゆがはめり
 始と筋違

通者 芦河の解の酒の解の
 人き一代名を竹童の四水古
 多き推し新らうに
 昔も昔も昔も昔も
 換換子水昔も昔も
 のぬも昔も昔も昔も昔も

通者

卷五

十五

名とくやうに或徳と和となく漢
文となく粹となく一向理はし
作となく通の面と能よま又算
版玉のきとる如の筆深とた平波
きんぎょのしよ

流花漫樹特角種人

